

広野町職員（学芸員・埋蔵文化財担当）を募集します

■採用予定日 平成26年11月1日 ■職種・採用予定人員 学芸員（埋蔵文化財担当）1人程度 ■受験資格 昭和39年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を平成26年3月31日までに卒業し、学芸員の資格を有する人で、普通自動車免許を有する人（欠格事由は募集要項で確認のこと。） ■試験方法：第1次試験は①教養試験（筆記）、②事務適性検査、一般性格診断検査、職場適応性検査。第2次試験は小論文と面接 ■第1次試験の日時・場所：平成26年8月24日（日）／広野町役場会議室（福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35番地） ■申し込み方法：申込書を平成26年8月1日（金）から13日（水）までに郵送（8月13日午後5時までに受領したもの）または直接（開庁日時内）広野町総務課庶務係（〒979-0402 広野町大字下北迫字苗代替35番地・☎0240-27-2111）へ。試験要項と申込書は本町総務課か郵送請求（「学芸員（埋蔵文化財担当）試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切手をはったあて先明記の返信用封筒（角型2号）同封のこと。）で入手可能。

☎ 総務課 庶務係 ☎0240-27-2111

広野町職員（高校卒程度）を募集しています

■採用予定日 平成27年4月1日 ■職種・採用予定人員 一般事務 1人程度 土木 1人程度 ■受験資格 平成5年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人。学歴不問。（欠格事由は募集要項で確認のこと。） ■試験方法：第1次試験は①教養試験（筆記）、②専門試験（筆記。土木のみ）と③事務適性検査、一般性格診断検査、職場適応性検査。第2次試験は個別面接と作文 ■第1次試験の日時・場所：平成26年9月21日（日）／杉妻会館（福島市杉妻町3番45号） ■申し込み方法：申込書を平成26年8月15日（金）までに郵送（8月15日午後5時までに受領したもの）または直接（開庁日時内）広野町総務課庶務係（〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35番地・☎0240-27-2111）へ。試験要項と申込書は本町総務課か郵送請求（「高校卒（一般事務・土木のいずれか）試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切手をはったあて先明記の返信用封筒（角型2号）同封）で入手可能。

☎ 総務課 庶務係 ☎0240-27-2111

先輩職員からひとこと

総務課 ^{たけべ} ^{じゅん} **武部 純**（平成24年度採用）

以前は機械関係のメーカーに勤めていましたが、被災自治体の中でいち早く復興計画を策定し、復興に向けて動き出そうとしていた広野町の一助になりたいと発起し、平成24年度に入庁しました。入庁後は総務課に配属され、役場組織全体に関わる仕事や選挙など、行政組織の運営面に関わる仕事に多く従事してきました。

自分の手掛けた仕事が町の意思決定に少なからず関わっていると、仕事に一層のやりがいを感じると同時に責任も感じています。総務課での仕事は、量が多い上に分野の幅が広く多岐にわたるため、個人の裁量も比較的大きく、時には大変な思いもありますが、その分、達成感が大きいです。

広野町復興の新たな力となる方の応募を待っています。



学校教育課（幼稚園） ^{ねもと} ^{まき} **根本 茉紀**（平成22年度採用）

私が幼稚園教諭1年目の3月に、東日本大震災が発生しました。平成24年の2学期から幼稚園が再開され、当時は4人だった園児も、今では38人となりました。

元気な子どもたちに負けないくらい体を動かし、感性豊かな子どもたちと新しい発見や感動を共に味わい、楽しい毎日を送っています。そして、なんとといっても子どもたちの笑顔は私にとって宝物です。その無邪気な明るい笑顔は、どんな疲れも吹き飛ばしてくれて、「よーし、頑張ろう！」と元気が湧いてきます。

そんな子どもたちの明るい笑顔と一緒に守っていきましょう。



双葉地方広域市町村圏組合が消防職員を募集しています

双葉地方広域市町村圏組合は、次のとおり職員採用試験を実施します。受験資格など詳細は、同組合ホームページの試験公告を閲覧するか、問い合わせ先へお尋ねください。

■試験職種 消防 ■採用予定人員 11人程度 ■試験の期日および場所 平成26年9月21日（日）杉妻会館（福島市杉妻町3番45号） ■受付期間 平成26年8月15日（金）まで

☎ 双葉地方広域市町村圏組合事務局 ☎0240-27-4665

双葉地方広域市町村圏組合消防本部 ☎0240-25-8523

新設予定地の選定理由や商業施設の計画概要を説明

いわき市に新設予定の特定小売商業施設に関する説明会を実施

■期 日 ①8月19日（火）、②8月20日（水）

■時 刻 午後7時～8時

■場 所 いわき市観光物産センター研修室（いわき・ら・ら・ミュウ2階）

■施設の名称（仮称）イオンモールいわき小名浜

■新設予定地 いわき市小名浜港背後地（都市センターゾーン）

■新設届出者 イオンモール株式会社（千葉市美浜区・代表取締役 岡崎双一）

■関係市町村 いわき市、広野町、楡葉町、川内村、田村市、小野町、平田村、古殿町、鮫川村

☎ イオンモール株式会社開発本部 開発統括部東北開発部 ☎022-204-1037

総務課 ^{にいづま} ^{しゅうへい} **新妻 秀平**（平成24年度採用）

私は、大学3年生のときに新宿で東日本大震災を迎え、帰宅困難者となりました。当時は東京でそのまま就職しようかとも考えていましたが、そういう状況の中で、古里に戻りたいという気持ちが起こり、町の採用試験を受けました。

採用されて最初に配属された産業グループで、農業振興を担当しました。自分自身が農家に生まれ育ったこともあって、昨年度コメの作付けと出荷が3年ぶりに再開されたときは、深い感慨を覚えました。

震災前は、地産地消で広野産のコメや野菜を学校給食に使っていました。そういう普通だったことを一つひとつ再開することが、広野のことを思って、広野のことが好きな人たちを、勇気づけていこうと思っています。

私たちと一緒に町の復興に取り組んでくれる仲間を、心から歓迎します。



町民保健課（保健センター） ^{ふじた} ^{なおみ} **藤田 奈緒美**（平成25年度採用）

私は、かつて出身地の北海道で長く保健師をしていました。東日本大震災後に福島県看護協会から被災地へ看護職員を派遣する事業に志願し、平成24年度に派遣職員として広野町にやってきました。

そして、派遣職員として応急仮設住宅への訪問などを重ねるうち、この地では保健師としてやるべきことがたくさんあることに気づきました。その年、町が保健師の採用試験を行ったため、腰を落ち着けて働こうと思い、採用試験を受けました。

保健師として活動していると、長引く避難生活が町民の健康状態に少なからず影響を与えていることを、実感します。そして、それは体の健康だけでなく、心の健康にも大きな影を落としています。

私は専門職なので、町民の健康を支援するのが直接の使命ですが、自分の仕事を通して復興に参画しているつもりです。

新年度、一緒に町の復興に携わる仲間とはどんな人たちだろうと、今からワクワクしながら、待ちわびています。

